

あけましておめでとうございます
今年もどうぞよろしく願います



pixta.jp - 67962711

始業式 校長 あいさつ

新しい年となりました。「今年はどんな年になるのか」わくわくするような期待感で迎えました。令和3年は丑年です。牛のようにどっしり大きく構えられるような腰の据わった人になりたいです。牛といえば、胃が4つあることで知られています。牛は口から入れた栄養を4つの胃で長い時間かけて消化します。第1・第2の胃には微生物がたくさん住んでいて食物を発酵させます。牛は食べ物を反芻（はんすう）という形で胃から口に戻し何度もかみ砕きます。第3の胃は、第1や第2の胃に食べ物を反芻したり、第4の胃に食べ物を送るなどの調整をしています。第4の胃で人間と同じような消化酵素を出してアミノ酸をたんぱく質に変えていきます。そうやって消化した食べ物を、腸で余すところなく栄養分をとりつくします。草しか食べない牛が、あんな大きな身体になるのは、食べた栄養を無駄なく吸収し、そこで活躍した微生物自体も自身の身体をつくるたんぱく源としているからだそうです。

私はこれを「人の話を聞くこと」につなげてみたいと考えています。人の話を聞くときに、すぐに「理解した」と早合点するのではなく、じっくりとその意味を消化して、相手の意図を深く読み取ることができるようにしたいです。

さて、話は変わりますが、昨年末にテレビでふと耳にして気になっている曲

をご紹介します。かの有名な若手俳優&歌手の菅田将暉さんの「虹」という曲です。映画「スタンド バイ ミー ドラえもん2」の主題歌にもなっているそうで、歌詞もメロディーも歌声も素敵で、子どもたちから大人まで幅広い層から支持されている曲です。

ちなみに、スタンド（いる）バイ（そば）ミー（僕の）とは「僕のそばにいてね」という意味です。

「泣いていいんだよ そんな一言に僕は救われたんだよほんとにありがとう 情けないけれど だらしのないけれど 君を想うことだけで 明日が輝く・・・」「一生そばにいるから 一生そばにいて 一生離れないように 一生懸命に・・・」「大きな夢じゃなくていいよ 自分らしくいれたらいいよ ひとりぼっち 迷ったときは あの頃を思い出して ああ・・・」「さみしい夜を半分 僕に預けてほしい うれしい日々は十分に 笑いあっていたい どんな言葉でも足りないような 君のぬくもりに触れたせいかな・・・」菅田将暉さんのしっとりした歌声がまさに心に染み込んでいきます。

さてアニメ「ドラえもん」には、ジャイアンという個性的なキャラクターが出てきますが、このジャイアン、昔からテレビ版と映画版では少し描かれ方が違います。テレビ版では、傍若無人ないじめっ子なのですが、映画版では彼の優しさや温かさも描かれています。短い放送時間の中で完結させるテレビと違って、映画はじっくりと描けるため、内面をより深く表現できるのかもしれない。

学校は何をやるのでしょうか？もちろん勉強です。しかし、勉強だけする場所ではありません。学校にはたくさんの方が存在します。人がたくさん存在すれば、当然もめ事も生じてきます。しかし、そのことを解決し乗り越えることで、それらのすべてが、あなたの人生の経験として生かされる日が来る可能性があります。そのためには、相手とじっくり向き合ってみることが大切なのかもしれません。じっくり向き合うことで、映画版ジャイアンのように、その人の内面の温かさを知ってもらうことができるかもしれません。そしてジャイアンもまた、のび太の強さや優しさに気づけるのではないのでしょうか。また、ドラえもんのような頼もしい友だちに出会えるかもしれません。

丑年の今年だからこそ、一步一步着実に歩み、じっくりと人と向き合うことをしてみましょう。

